

一、水源

地表水
雨水
河川水
湖水ノ水
貯水地ノ水

地下水
淺在水——淺井水
深在水——深井水
湧水——小都市及農村ノ水道ハ湧水ガ主役ヲナス

一、淨化施設

曝氣法、沈澱法、沈澄法、濾過法、藥品淨水法、電氣淨水法（オゾン、紫外光線ヲ發生セシム）

一、送水施設

源水——淨化場所

一、配水施設

配水池——配水管（本管、支管）

一、給水施設

簡易水道ニ於テハ水源ト配水設備ノミアラバ良イヤウナ良水ヲ選ビ且水源モ近クニ求ムルヲ可トス尙簡易水道ニツキ左ノ如ク要點ヲ述ベラル

- 一、水質（多少ノ含有物アリトスルモ保健衛生上支障ナケレバ辛抱スルコト）
- 一、水量（日常ノ生活ニ差支ナイ程度ナラバ我慢スルコト）
- 一、建設費及維持費ハ事情ノ許ス限り節約スルコト
- 一、水源

第一 湧水

第二 井戸水（深井戸水）

第三 川岸ノ水平ノ井戸水所謂伏流水

一、淨水設備

成ルベクソノマ、飲用ニ供シ得ル良水ヲ選ブコト、スルモ淨化ヲ要スルモノハ緩速濾過法ニ依ルコト

一、送水設備ハ自然流下ヲ可トス

一、給水設備

共同栓式、共同水汲場所

- 一、一般ニ工造物ハ堅牢ニシテ役ニ立テバ善イノデアルカラ材料ハ第三流ノモノヲ使用スルコト
- 例ヘバ鐵管、總工事費ノ三四割ニ上ルヲ以テ「コンクリート」管ノ使用ヲ考慮スルガ如シ

一、簡易水道ノ工費

計畫供水人口一人當リ十圓乃至十四、五圓地形ニ恵マレタル箇所ニ於テハ七、八圓

一、經常費

給水人口一人當リ七、八十錢尙簡易水道ノ普及ハ補助アルトコロ成績良シ、今日此ノ方面ニテ好評アル長野縣ノ如キ總工費ノ五割ノ補助アリ

農村飲料水改善指針案

一、飲料水改善ノ必要

イ 生理上ノ影響

ロ 傳染病トノ關係

二、良水ノ判定

イ 水質検査

ロ 判定標準

三、飲料水ノ種別ニ依ル改善ト保護

イ 簡易共同給水設備

a 説明

b 種類及構造(圖ヲ挿入ノコト)

c 經費

d 水源ノ選擇ト水量ノ標準

e 危害ト保護(水質検査ノ勵行、水源ノ涵養、田水、用水等ノ浸入防止、鑛毒ノ危害、交通ヨリ來タル危害)

f 使用心得

ロ 鑛井(掘抜井戸)

a 説明

b 種類及構造

c 新設竝ニ維持上ノ注意

d 經費

ハ 掘井戸

a 位置及構造ト其ノ良否

位置、井戸側(利害得失)、井桁(利害得失)、閉鎖式、汲上方法(種類ト利害得失)、流シ元

及下水溝其ノ他

b 維持上ノ注意(周圍ノ注意、井戸漂)

ニ 湧 泉

a 利用方法

b 保護

ホ 溪 流

a 利害得失

b 利用上ノ注意

ヘ 河 川

a 危 害

b 利用上ノ注意

ト 池 沼

a 危 害

b 利用上ノ注意

チ 天 水

利用設備

リ 用水、田水等

危 害

ヌ 共同飲料水

a 説 明

b 使用上ノ注意

四、不良水質ノ改善

イ 濁濁又ハ色アル場合

ロ 臭氣アル場合

ハ 鐵分多キ場合

ニ 硬度高キ場合

ホ 有機物ノ多キ場合

ヘ 病毒汚染ノ虞アル場合

ト 其ノ他有害物ノアル場合

附 録

簡易共同給水設備ノ具體的實例

四〇

三、結核豫防ノ根本的對策ニ關スル特別委員會

第一回

昭和八年一月二十七日午後一時四十分ヨリ內務省會議室ニ於テ開會

出席者 金杉委員長

富田、宮川、赤松、長與、北島、佐伯、唐澤、栗山、宮島、古瀬、田澤、國府田、

合田、矢野、西野、中川、山川、原、平井、大島各委員

藤原、白松、高野、野邊地各幹事

樫田、內藤、佐藤(秀)、佐藤(正)各技師

勝俣、草間兩防疫官

議事ノ經過

協議ノ事項及順序ニツキ打合セヲナシタル結果關係各廳並關係團體ニ於ケル結核豫防施設ノ現況及將來ノ計畫ニツキ當該委員ヨリ一涉リ説明ヲ聽キ豫備知識ヲ得タル上審議ヲ進ムルコト、シ本日ハ高野幹事ヨリ結核死亡者ノ趨勢、現在ノ豫防施設、結核療養所ノ現況、日本放送協會ノ納付金ト結核豫防

事業等ニツキ説明アリ又山川委員ヨリ學校衛生ト結核トノ關係ニツキテ小學校教員ノ身體檢查、學生生徒兒童ノ定期身體檢查、結核ノ感染及發病防止、體育運動上ノ注意、衛生教育ノ徹底等ニツキ説明アリ尙ラチオ納付金ノ使途ニツキ希望ヲ述ベ爾後每週火曜日ヲ本特別委員會ノ定日トシ會議ヲ開クコトニ決シ

午後四時散會

第二回

昭和八年一月三十一日午後二時ヨリ內務省會議室ニ於テ開會

出席者 金杉委員長

富田、宮川、赤松、北島、佐伯、唐澤、宮島、古瀬、田澤、國府田、合田、矢野、

西野、中川、小原、山川、原、平井、大島各委員

藤原、白松、高野、南崎、野邊地各幹事

樫田、內藤、佐藤(秀)、佐藤(正)各技師

勝俣、草間兩防疫官

議事ノ經過

一、佐伯委員ト山川委員トノ間ニ學校給食問題ニツキテ質疑應答アリ

四一

一、赤松委員ヨリ工場衛生問題トシテノ結核即チ職工殊ニ女工ト結核トノ關係ヲ述ベ之ガ改善方法トシテ結核患者ノ作業禁止、寄宿舎改善、職工採用ノ際ノ健康診斷、榮養殊ニ寄宿生活ニ於ケル榮養改善、工場體育ノ獎勵等ニツキ説明アリ、將來ノ施設トシテ工場管理、高温高濕作業ノ規定、工場醫及工場看護婦ノ設置等ニカラ致シタシト説カル

一、中川委員ヨリ日本赤十字社ニ於テ從來施爲セル結核豫防事業ノ大要トシテ明治四十年六月開會ノ萬國赤十字社總會ノ決議ニ基キ平時ニ於テ結核豫防事業ニ努力スルコト、ナリ明治四十四年ニハ結核ニ關スル小冊子ヲ刊行頒布シ其ノ後畏クモ十萬圓ノ御下賜金ヲ賜ハリ益核結核豫防事業ニ竭シ目下毎年年釀金額ノ十分ノ一以上ヲ結核豫防施設ニ充當シ赤十字社病院內ニ結核病床ノ設置、結核療養所ノ設立經營及巡回診療等ヲ行ヒツ、アル旨説明アリ

一、平井委員ヨリ簡易保險被保險者ノ結核死亡率率ハ一般國民ノ結核死亡率率ニ比シ相當高率ナルヲ以テ之ガ對策トシテ從來健康相談所ノ設置、巡回相談、巡回看護婦ノ制度及印刷物ノ配布等ニ依リ結核患者ヲ始メ他ノ一般患者ノ福利ヲ圖リツ、アリ尙將來ノ計畫トシテ健康相談所ノ擴張、徹底、療養所ノ創設、遞信從業員ノ健康診斷、遞信病院ノ設置等アル旨ヲ述ベラレ午後四時散會

第三回

昭和八年二月七日午後二時ヨリ内務省會議室ニ於テ開會
出席者 金杉委員長

宮川、赤松、長與、北島、佐伯、唐澤、栗山、宮島、古瀬、田澤、國府田、馬淵、

合田、矢野、西野、中川代理、小原代理、原、平井、大島各委員

藤原、白松、高野、南崎、野邊地各幹事

桊田、内藤、佐藤(正)各技師

勝俣、草間兩防疫官

議事ノ經過

一、合田委員ヨリ軍隊ニ於ケル結核豫防法トシテハ入營後ノ咯痰検査及ツベルクリン検査、毎月一回月例身體検査ヲ行ヒ保護方法トシテ健康保護兵ノ制、結核ノ發生ト兵業ノ調節、食器被服兵器ノ消毒等ヲ行ヘル旨ヲ述ベラル

一、古瀬委員ヨリ健康保險被保險者中結核患者相當多キヲ以テ之ガタメ診療ヲ爲スト共ニ教育ヲ行フコトニ努メツ、アリ、而シテ診療ハ齒科ヲ除クノ外日本醫師會ノ請負制ニ依リソノ教育ノ爲ニハ保健施設費トシテ年額二十五萬圓ヲ支出シ結核ヲ始メ各種疾病ニツキ保健上ノ宣傳、諸検査、健康診斷、保養ニ關スル施設等ヲ行ヒツ、アル旨ノ説明アリ、尙結核ノ如ク廣ク蔓延セル疾病ニ就テハ之

ガ根本策トシテ大衆的ニ考慮スルコトヲ要ス即チ診療ニ對シ一定ノ基準ヲ與フルト共ニソノ生計ニ對シテモ一定ノ保證ヲナス途ヲ講ズル要アルコトヲ力說セラレ

午後四時散會

第四回

昭和八年二月十四日午後二時ヨリ内務省會議室ニ於テ開會

出席者 金杉委員長

宮川、長與、北島、佐伯、唐澤、栗山、宮島、古瀬、田澤、國府田、馬淵、合田、

矢野、西野、中川代理、小原、山川、平井各委員

高野、南崎各幹事

樫田、内藤、佐藤(正)各技師

勝俣、草間兩防疫官

議事ノ經過

一、矢野委員 普通ノ疾病ハ七八歳頃迄ハ死亡率高クソレヨリ減ジテ五十歳頃カラ復高率トナル然ルニ結核ハ之ニ反シテ幼年時代ニハ少ナク青壯年時代ニ多ク五十歳頃カラ減少スル傾向アリ、保險加入者ニシテ結核性ノ疾患ニテ死亡スル者ハ加入者中全死亡者ノ約二割ニ當リ一般死亡者中ノ結核死

亡率ニ對シ遙カニ高シ之ガ豫防撲滅策トシテ加入者ノ福祉増進施設ヲ計畫スル向アルモ爲メニ要スル經費トソノ效果トヲ併セ考フルトキハ寧ロ當該金額ダケ保險料ヲ輕減スルニ如カズトモ考ヘラル、旨ヲ說カル

一、國府田委員ヨリ海軍ニ於ケル結核豫防對策トシテハ志願兵及徴兵トモ身體検査ヲ嚴重ニシ結核性疾患者ノ入隊ヲ防止スルコト、「ツベルクリン」ノ反應ヲ見ルコト、月例疾患検査及春秋二期ノ體重検査ヲ勵行スルコト、作業ノ調節監督ニ留意スルコト等ノ説明アリ

午後四時散會

第五回

昭和八年二月二十一日午後二時ヨリ内務省會議室ニ於テ開會

出席者 金杉委員長

宮川、赤松、長與、北島、佐伯、唐澤、栗山、宮島、田澤、馬淵、合田、矢野、西

野、中川代理、小原、原、平井各委員

高野、南崎、野邊地各幹事

内藤、佐藤(正)兩技師

草間防疫官

一、北島委員ヨリ日本結核豫防協會ノ沿革目的ニツキ説明アリ又ソノ現ニ行ヒツ、アル主ナル事業トシテ各地結核豫防團體ノ統制、結核豫防ノ宣傳、結核豫防デーノ開催統制、兒童健康聚落ノ開催、健康相談及診療所ノ經營ヲ舉ゲ將來ノ企劃トシテ全國加盟團體ニ對スル助成、連絡、公衆豫防教育ノ實施、結核專門醫師及看護婦ノ養成、乳兒結核ノ豫防等アル旨説明アリ

二、馬淵委員ヨリ恩賜財團濟生會ハ他ニ療養ノ途ナキ患者ノ診療ヲ使命トスルモノナルガ故ニ從來此ノ趣旨ノ下ニ經費ノ許ス範圍ニ於テ地方ノ實情ニ應ジ緩急ヲ圖リ都市ニテハ病院診療所ヲ設置シ其ノ他ハ一般ニ開業醫ニ囑シテ委託診療ヲ行フモノナルガ、カクシテ取扱フ總患者數中結核患者ハ七八分ヨリ一割ニ上リ結核診療機關缺乏セルタメ結核患者ハ特ニ悲慘ノ狀況ニ在ルコトヲ痛感スル旨ヲ述ベラル

、宮島委員ヨリ佛國ニ於ケル結核豫防施設ノ概況ニツキ説明アリ、結核死亡率ノ狀況及結核届出主義ノ行ハレザルコト英米等ニ比シ豫防施設ノ遜色アルコト等我國ノ狀況ニ克似セルコト、結核豫防問題ニ官民留意シソノ努力ノ中心點ハ兒童ノ保護ニアルコト、家庭ニ患者發生ノ場合ハ及ブ限り速ニ患者ヲ家庭ヨリ隔離シテ之ヲ病院、診療所ニ收容シツ、アルコト、施設ノ充實ト共ニ醫師看護婦ノ養成ニカメツ、アルコト、各種機關ヲ總動員シテ結核豫防ニ當リツ、アルコト等ヲ説カル

午後四時散會

第六回

昭和八年三月七日午後二時ヨリ内務省會議室ニ於テ開會

出席者 長與、北島、佐伯、唐澤、栗山、宮島、田澤、國府田、馬淵、合田、矢野、西野、

中川代理、山川、平井各委員

藤原、高野、南崎各幹事

檉田、内藤、佐藤(秀)、佐藤(正)各技師

議事ノ經過

本日ハ金杉委員長缺席ニツキ北島委員代理ス

一、栗山委員ヨリ今日ノ狀態ニ於テハ何時結核ニ罹ルカ保シ難シ而シテ一旦感染スルト小兒期ノ者ハ惡シキ經過ヲ取ルモノナルヲ以テ家庭ニ患者發生シタル場合ニハ先ヅ小兒ヲ保護スベキコト、直接兒童ニ接スル職務ニ在ル者ニハ結核患者ヲ避クベキコト、大都會ニテハ自然ノ惠澤ニ恵ヤレザルヲ以テ之ニ優ル豫防施設ヲ考究スルコト、學校、病院等ノ建築ニハ日當リ良キ箇所ヲ選ビ建築美ニ捉ハレテ無暗ニ硝子ヲ用フル風ヲ避クベキコト(硝子ハ紫外線ヲ全然通サズ障子紙ハ新シキモノハ十

二分二十秒、古キモノハ十八分五十二秒ニテ紫外線ヲ通ス事例アリ等ノ意見開陳アリ

一、田澤委員ヨリ東京市療養所ノ現況ニツキ收容患者數、入所申込者停滯狀況、停滯緩和の方法、經費關係、患者慰安方法等ニツキ説明アリ、尙東京市療養所附近住民ノ結核蔓延狀況調査ノ結果世人ノ懸念スルガ如ク結核患者特ニ他ノ地方ヨリ多シトイフ事實ナキコト等ヲ述ベラル

一、原委員病氣不參ニツキ高野幹事代リテ方面委員ニテ取扱ヒタル結核患者調ニ基キテ考察スルニ細民間ニ於ケル結核ノ蔓延ハ頗ル夥シク其ノ狀況ハ眞ニ寒心スベキモノアルニ鑑ミ結核豫防ノ對策ヲ確定スルニハ特ニ細民階級ヲ對象トシテ之ガ樹立ヲ希望スル旨ヲ傳ヘラル

一、以上ヲ以テ一應委員ノ報告ヲ終リタルヲ以テ次回ヨリハ結核豫防ノ根本對策ニツキ事項ヲ定メテ審議スルコト、シ先ヅ結核病床ノ増加ヨリ始ムルコトニ打合セ

午後四時散會

1901